

ニセ電話詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺対策の推進

【特殊詐欺の認知件数・被害額・検挙人員】※暫定値

項目	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8.6末	前年同期比
認知件数	6	11	6	5	11	30	67	28	-19
被害額(万円)	1,104	864	299	233	1,106	25,866	28,522	16,193	-3,664
検挙人員	3	5	2	3	4	2	5	0	-2

- 取組
- 優良防犯電話の普及促進事業(全国防犯協会連合会) 5・6月の2か月間で33台設置(達成率44%)
 - 年金支給日におけるニセ電話詐欺防止キャンペーン等を通じた広報啓発(2・4・6月)
 - 被害阻止事案に対する感謝状の贈呈
 - 被害認知時の「ふっけい安心メール」の配信(23件)
 - 犯行ツール対策として、犯罪による収益の移転防止に関する法律違反事件を3件検挙

- 今後
- 阻止活動促進のための金融機関及びコンビニエンスストア等に対する働き掛けの推進
 - 防犯協会と連携した防犯機能付き電話等の普及促進
 - 学生ボランティアと協働した広報啓発の推進
 - 自治体と連携した広報啓発活動の推進
 - 各種施策実施時のマスメディアを通じた効果的な広報
 - 「だまされた振り作戦」等による検挙対策の推進
 - 犯罪インフラ対策及び犯行ツール対策の推進
 - 検挙被疑者に対する突き上げ捜査の推進

暴力団・トリックウ対策の推進

【暴力団の検挙人員・勢力・構成員】※手集計

項目	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8.6末	前年同期比
検挙人員	8	8	9	10	6	5	6	1	-1
勢力(人)	-	-	-	-	-	36	38	35	-3
構成員(人)	36	34	31	28	26	20	22	22	±0

- 取組
- 綿密な内偵捜査により指定暴力団傘下組員1名を検挙
 - 飯塚市との協定に基づく暴力団排除措置(市営住宅からの排除)

- 今後
- 資金獲得犯罪に対する実態解明及び取締りの徹底
 - 暴力団から県民を守る保護対策の徹底
 - 暴力団排除活動及び離脱・就労支援対策の推進

【匿名・流動型犯罪グループ総合対策の推進状況】

- 取組
- トリックウと思料される被疑者3名を検挙するなど、各種対策を推進

- 今後
- 匿名・流動型犯罪グループに対する実態解明を始めとする対策の推進と解体の徹底
 - 上位被疑者への突き上げ捜査の徹底
 - 犯罪収益の剥奪の徹底

飲酒運転・交通事故抑止対策の推進

【飲酒運転事故の発生件数・検挙件数】※確定値

項目	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8.6末	前年同期比
発生件数	5	3	1	1	6	0	2	3	+1
検挙件数	80	51	31	52	51	59	65	32	-9

- 取組
- 発生状況を踏まえた飲酒運転取締り
 - 日本マクドナルドと連携した飲酒運転通報訓練(1月)
 - 西鉄バス筑豊における飲酒運転撲滅アドバイザーによる講演(3月)
 - 女子プロバレーボールチームと協働したキャンペーン(6月)

- 今後
- 企業等における飲酒運転通報訓練、飲酒運転撲滅教育用VRを活用した交通安全教育の推進
 - 酒類提供飲食店等における通報訓練の実施
 - 飯塚市と協働した広報啓発用うちわの制作・配布
 - 飲酒運転事故被害者遺族による講演の積極的な招致
 - 飲酒運転情報の分析に基づく隣接署等と協働した取締りの強化

【交通事故の発生件数・死者数】※確定値

項目	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8.6末	前年同期比
発生件数	896	726	672	641	578	463	430	227	+32
死者数	1	3	3	5	2	3	4	4	+3

- 取組
- 麻生看護大学校を新たに自転車ヘルメット着用モデル校に指定(2月)
 - 西日本新聞エリアセンターと協働した広報啓発(4月)
 - 高校生22名を高校生交通安全チャリダーズに認定(4月)
 - 大型連休中における交通事故抑止のための集中取締り(5月)
 - モデル校の専門学生と協働した啓発活動(5月)
 - 筑豊地区警察署等と連携した不正改造車両の合同取締り(5月)

- 今後
- 高校生交通安全チャリダーズと協働した生徒の自転車マナーとヘルメット着用率の向上のための啓発活動の推進
 - 自転車の交通違反に対する青切符導入に伴う交通指導取締りの強化
 - 高齢者関連事故を防止するための「反射材」の配布活動の実施
 - 「シルバー・セーフティ・ドライビングスクール」の積極的な開催
 - 通学路の安全確保に向けた走行車両の速度抑制のための指導取締りの強化

性暴力・児童虐待への的確な対処

【性犯罪の認知件数・検挙率】※暫定値

項目	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8.6末	前年同期比
認知件数	5	7	7	3	4	20	11	5	-1
検挙率(%)	120	85.7	100	66.6	100	60	90.9	60	-40

- 取組
- 性犯罪～検挙率60%(認知件数5件/検挙件数3件)
- 【内訳】
- ・ 不同意性交等(認知件数4件、検挙件数3件)
 - ・ 不同意わいせつ(認知件数1件)

- 今後
- 被疑者の早期徹底検挙による被害の拡大防止
 - 防犯カメラ画像の収集、緻密な鑑識活動等の迅速かつ的確な初動捜査の徹底
 - 性犯罪の発生実態の分析に基づいた重点警戒
 - 学校、企業等と連携した自主防犯行動を促す広報啓発等の推進
 - 犯罪被害者支援センターと連携した支援活動の推進
 - 実戦的指導・教養による若手捜査員の早期育成

【通告児童数、ST相談等件数、DV相談等件数】※暫定値

項目	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8.6末	前年同期比
通告児童数	237	260	323	207	198	213	259	109	+10
ストーカー・DV相談等件数	60	47	38	37	43	26	31	25	+7
DV相談等件数	110	93	70	78	74	74	83	53	+15

※ 通告児童数とは、児童虐待を受けたと思われる児童を児童相談所に通告した件数

- 取組
- 児童虐待事案において、問題兆候を適切に把握し対応した結果、通告児童数は増加(前年同期比+10件)
 - 本部主管課と連携した積極的なストーカー・DV事案対応
 - ・ ストーカー認知件数 25件(前年同期比+7件)
 - ・ DV相談認知件数 53件(前年同期比+15件)

- 今後
- 児童相談所等関係機関と連携した児童の安全確保を最優先とした対応の徹底
 - ストーカー・DV事案における事件化を最優先とした対応の徹底
 - ストーカー行為者に対する積極的な禁止命令及び文書警告の実施
 - 人身安全関連事案発生時における対処本部への確実な報告と迅速的確な対応の徹底
 - 警察共通基盤システムを活用した確実な記録化と事案管理の徹底

サイバー空間の脅威への的確な対処

【サイバー犯罪の相談件数・検挙件数】※手集計

項目	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8.6末	前年同期比
検挙件数	0	2	5	2	4	5	6	2	±0
相談件数	59	67	68	122	97	83	128	41	-18

- 取組
- 不正利用事件等、サイバー犯罪対策課との合同捜査の実施
 - インターネット上の違法・有害情報の削除件数735件
 - サイバー犯罪対処能力向上のための各種教養の実施

- 今後
- 本部主管課と緊密に連携した捜査の推進
 - 事案認知時における迅速・的確な初動対応と証拠保全の徹底
 - 関係機関・団体等と連携した被害の未然防止及び拡大防止対策の推進
 - 社会全体におけるセキュリティ意識の向上に向けた広報啓発活動の推進
 - 職員の対処能力の向上に向けた取組の推進

重要凶悪事件の徹底検挙

【重要凶悪事件の認知件数・検挙件数・検挙率】※暫定値

項目	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8.6末	前年同期比
認知件数	2	1	2	7	3	1	1	1	+1
検挙件数	2	1	2	3	3	1	1	0	±0

※ 重要凶悪事件とは、殺人、強盗、放火、略取・誘拐

- 取組
- 身代金目的誘拐事件を想定した実践的捜査訓練の実施(2、6、7月)
 - 誘拐事件等指定捜査員に対する教養の実施(4月)

- 今後
- 最大限の捜査員を動員した迅速・的確な初動捜査の推進による被疑者の早期かつ徹底した検挙
 - 被害者等の心情に配慮した捜査の推進
 - 犯罪被害者支援センターと連携した綿密な支援活動の推進
 - 県民の安心感の醸成と被害拡大防止に向けた迅速かつ的確な情報発信の徹底
 - 実戦的な教養による若手捜査員の早期育成
 - 実戦的事件対応訓練の実施

災害・テロ等の脅威への的確な対処

- 取組
- 【災害対策】
- 災害対処能力の向上を目的とした災害警備本部設置訓練及び図上訓練の実施
 - 警察署代替施設(飯塚オートレース場)における警察署機能移転訓練の実施
 - 管区機動隊飯塚小隊が飯塚市消防署と合同訓練を実施
- 【各種テロ対策】
- 第51回衆議院議員選挙等における要人警護の完遂
 - 飯塚国際テニス大会におけるテロ警戒活動の推進

- 今後
- 【災害対策】
- 大規模災害に備えた装備資機材の点検・整備
 - 飯塚市総合防災訓練の機会を活用した地域住民の自助意識の醸成に向けた広報啓発の推進
- 【各種テロ対策】
- 花火大会等の大規模行事におけるテロ対策及び雑踏警備対策の推進
 - 要人の安全確保に向けた的確な警護及び実戦的な警護訓練の実施
 - 管内所在のヤード、宿泊施設等に対する立入り・訪問活動の実施によるテロ未然防止対策の推進

社会の変容に即した警察運営の推進

- 取組
- 年次休暇取得促進 平均7.69日(前年同期比+0.15日)
 - 男性職員の育児参加促進 父親育児休暇取得率100%
 - 学校等と連携した警察官採用勧奨活動の実施
 - グループ別検討会を始めとした職務倫理教養の実施

- 今後
- ポータルサイトの積極的な活用等、業務のデジタル化・合理化を推進して働きやすい職場環境を形成
 - 男性の育児促進を始めとしたワークライフバランス実現のための職場環境の整備
 - 高校、大学等との連携の強化による勧奨活動の推進
 - 高い倫理観と厳正な規律を保持するための指導教養の徹底